

南雲道夫 (阪大)

窪田教授、問題ヲ讀ンテ直ク思ヒツイタコトヲオ送り致シマス。甚ダツマラヌモノデ「スガ御戯セ下サラハ」幸甚ニ存シマス。ナホ、小生自身、問題ニアリマスガ、ソノ方ハソロソロ書イテソノ内ニオ送り致ス考ヘテ居リマス。

紙上談話會ニ發表サレタ窪田教授ノ問題(或ハ尙ホ正確ニハ高須教授ノ問題ト云フベキデアロウ)ヲ面白ク拜見致シマシタ。然シ幾何學(殊ニ微分幾何學)ニ關シテ無管ナ私ハ、みんニウズキ、曲率表示トハドニナモカ知リマセン。從ツテ残念ナカラ窪田教授ガ提出サレタ問題ニ對スル解答ヲ私ハ与ヘル事ガ出来マセン。

シカシナガラ紙上ノ証明ヲ拜見シマストソレハ曲率表示ナル表面 Σ ノ一定点ヨリ下セル法線ノ数ヲ用ヒラレテアリユ。私リ次ニ此ノ問題トシテ考ヘテ見ニセウ。但レソノ曲面ハ一般ノ滑ラカナル閉曲面トシテ、系集、代リニ、ソノ閉曲面ニ因ニレタ内部 Ω ニ一兵ヲ考ヘユ。

[結論] (A) 閉曲面内ノ一定点ヨリニ、表面ニ下セル法線ノ数ハナシトモニツアル。此數ハ一般ニ n ニヨリ大ク出テ来テ。

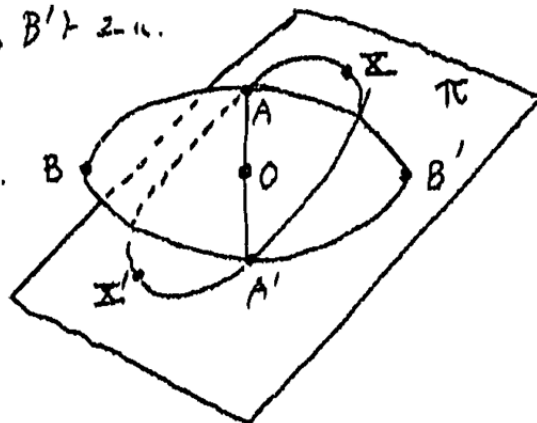
(B) 有心閉曲面ニ於テソノ中心ヨリ此表面ニ下セル法線ノ數ハ、ナシトモニツアル(但レソノニツガツ一政シテ向キガ反對デアル。即チソノ法線ノ足ガニツゴ、中心ニ對シテ對稱デアル)

[証明] (A)ノ証明ハ一定点ヨリ表面ニ至ル距離ノ最大ナル兵 r ニ對シテ、最小ナル兵ヲ考ヘルガヨク。ソレガ n 以上存在セヌ例ニ、球面ヲ考ヘ、一定点ヨリ球面内テ球ノ中心以外ノ兵 l ニシガヨク。

(B)ノ証明ハ、先ヅ中心 O ヨリ表面ニ至ル距離ノ最大ナル兵 r ノ兵 l ヲ考ヘル。正寫 l ニツクシモ中心ニ對シテ對稱 $l' = -l$ ノ存在ニル。今中心ヲ O 、 O ニ一帯 Σ ニ表面ニ至ル兵ヲ A, A' (A, A' ハ O ニ對シテ對稱)

0 2, 一番遠い点 B, B' と 2 である。

図を参照して下さい。



面

A, A' を通る平面 π 上の閉曲線 Γ 上の点 X への最短距離は、 Γ の切線に垂直な閉曲線 Γ 上の点 X' である。 (論理的に不十分な表現で証明、筋道、差支へないであろう) Γ 上の閉曲線、点 O から距離 OA, OA' が最短である。従って A, A' 以外に Γ 上の閉曲線に点 O が存在し、距離が最大となる点 X, X' が存在する。 (X, X' は O を通る直線 OX, OX' 上の点)

次に平面 π を A, A' を軸として回転させて OX の位置が種々変化する。 OX が最も長いとき、このとき X, X' が C, C' となる。 OC と OC' は閉曲線 Γ 上の点 O から距離が最大となる点である。 先づ此際、 C, C' は O から最も長いとき、このとき C, C' は B, B' 以外に存在しない。 又 C, C', A, A' は一致する点 O が同一の切線に最も近い点であるから明らかである。 OC が法線となること、又帰謬法から容易に証明出来るから明らかである。 以上、(9.8.17 受取)